

南相馬市授業改善プランⅣ

新・南相馬の授業スタイル

南相馬市学校教育指導委員会

南相馬市の小・中学校では、授業改善プランをもとに9つの課題の改善に向けて授業改善に取り組んでいます。この冊子では、9つの課題の中でも特に重点的に改善を図りたい項目を焦点化し、全ての教員が共通理解を図り共同歩調で取り組めるよう、学習指導のポイントについてまとめました。

また、県教委の授業スタンダードや学力先進地である秋田県由利本荘市の取り組みをもとに、実際の授業場面でどのような指導が効果的なのかを具体的に示しました。

各学校において、この冊子をもとに思考・発信型の共通した授業スタイルを実践し、基礎・基本の定着と活用力（思考力・判断力・表現力）の向上を図っていきましょう。

【目標】

基礎・基本の定着と活用力の向上

～全国トップクラスの学力を目指して～

【授業改善による学力向上！】

全国トップクラスの質の高い授業の実施
「市9つの課題アンケート」で検証

【授業改善の合言葉！】

話合い・学び合いを通して、子どもたちに
「考える力・協働して解決する力」を身につけさせましょう！



南相馬市の目指す授業像

授業の中に **考える・話す・書く** 活動を多く取り入れることで、**子どもたちが主役の授業**を行います。こうした授業を通して子どもたちの**思考力・判断力・表現力**を育てます。また、教えることはきっちりと教える授業、電子黒板等のICT機器を使った分かりやすい授業を行います。

【南相馬市9つの課題】（全国学力・学習状況調査の分析から設定）

- （１）話合い・学び合いを通じ、児童生徒相互に啓発するような授業の設定
- （２）目的に応じて資料を読み取り、話したり、書いたりする学習活動の指導
- （３）活発な発言を促すため、発表する場の意図的な設定
- （４）根拠を明確にして書く学習活動の重点的指導
- （５）ノート指導の工夫
- （６）板書が果たす役割の重視と工夫
- （７）適用とまとめの時間の確保
- （８）計画的な家庭学習の習慣化
- （９）読書活動の推進

全学年・全教科・全教員…

みんなで関わって、授業改善を進めましょう。

今こそ、ALL 南相馬の教師力で！



南相馬の「授業」スタイル＝話し合い・学び合いを活かした授業展開

9つの課題（1）話し合い・学び合いを通じ、児童生徒相互に啓発するような授業の設定

「授業スタンダード」から

＜ペアやグループ・学級全体での話し合い＞



- 友達との交流を通して、考えを共有・吟味させましょう。
- 思考過程を可視化しましょう。
- 子どもたちの考えを基に話し合いをコーディネートし、ねらいに迫りましょう。
- つまずきを取り上げる場合には、その子の思いに共感しながら適切に支援しましょう。

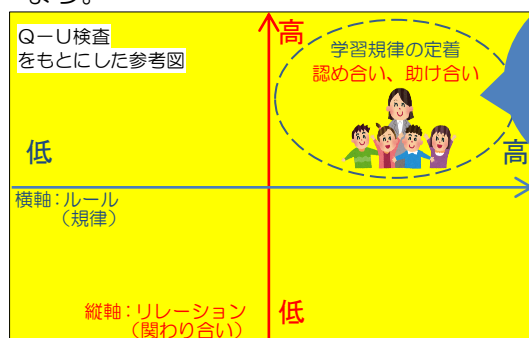


1 話し合い・学び合いを活かした授業を行う！（展開例）

導入	○学ぶ必要感の高い学習課題の設定 ・児童生徒が「？」や「〇〇したい」と感じる課題設定 日常生活の例示、実物の提示、ICTの活用等→考えのズレを引き出す ・予想、見通しを持たせる	児童・生徒が主役の授業＝教師はコーディネート役（進行役・つなぎ役）
展開	○考えを広げたり・深めたりする話し合い・学び合い活動の設定 展開例 自力解決 ↓ ペア学習、グループ学習 ↓ 全体での発表  既習事項・学習事項の活用 思考ツールの有効活用 ・小ホワイトボード ・ネームプレート ・ICT など 書く活動の設定 ・書くことで考えさせる ・友達の考えをノートに書き込む	
終末	○話し合い・学び合いの良さを実感させるまとめ、振り返りの設定 ・まとめ ⇒全体での共有化、わかった！できた！の実感 ・振り返り⇒「めあて・まとめ」をもとに感想記入または適用問題で定着へ→ 家庭学習との連携	

2 話し合い・学び合いの土台となる学級を作る！

話し合い・学び合いを効果的に行うためには、**親和的なまとまりのある学級づくり**を行うことが大切です。Q-U検査では、「**ルール（規律）**」と「**リレーション（関わり合い）**」の視点から学級づくりを診断しています。この2つのバランスがとれた学級集団作りをしていきましょう。



話し合い・学び合いの効果が
高い学級は、ここに属する子
が多い！

話し合い・学び合いの充
実のためには、日頃から
**生徒指導の機能を生
かした授業**を行うこと
が大切です！



最終ページ参照！

南相馬の「導入」スタイル

9つの課題（2）目的に応じて資料を読み取り、話したり、書いたりする学習活動の指導

「授業スタンダード」から

＜授業の導入～子どもの「問い」や「思い・願い」を引き出し、課題意識を持たせます～＞



【教材との出会い】「問い」や「思い・願い」を引き出すために

○具体物を提示しましょう。

- ・写真や図表、動画、楽譜、絵、デジタル教科書
- ・資料の段階的な提示
- ・複数の資料の比較・対比

こんな授業していませんか？



5分の4リットルの飲料水を○人で等しく分けます。1人分の飲料水は何リットルになりますか？

今、なんていったのかな？

何したらいいかわかんない…



言葉による提示だけだと、学習のイメージが湧いていないようです…

こんな授業にしてみましょう！

1 コンパクトでインパクトのある資料提示で、子どもの学ぶ意欲を高める！

ポイント①具体的な資料の提示

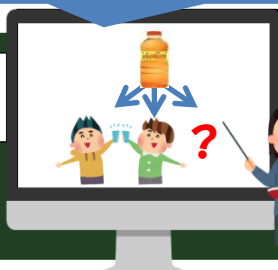
実物・記事・図表・イラスト等の資料を提示し、学習のイメージを持たせましょう。
(実演、掲示物を活用した振り返り、ICT活用等)

①日常性のある資料の提示

②学びの必要感を高める資料の提示

③直観的でわかりやすい資料の提示

例えば



$\frac{4}{5}$ Lのジュースをみんなで等しく分けるにはどうしたらいいのかな？

前に習ったアレが使えるかな？

2人ならすぐわかります！



3人だと難しいな。

確かにこういう時あるなあ。

ポイント②発問の工夫

「ズレ（驚き・疑問・矛盾）」を引き出す問いかけを工夫しましょう。

①「どのように(どのような)？」

②「なぜ？どうして??」

③「どうしたらよいか？」

話したい！書きたい！解きたい！気持ちを高めて、話合い・学び合いへ

2 学習課題（めあて）設定の工夫で、子どもに見通しを持たせる！

教育先進地（秋田県由利本荘市）との教員交流研修 原町一小で行われた西目小学校の先生の6学年算数「比」の授業より

工夫その1

・児童生徒の声を活かした課題

工夫その2

・本時の学びをふまえた課題

工夫その3

・問いかけや呼びかけのある課題

工夫その4

・「まとめ」とつながりのある課題

板書・ノート指導については、授業改善プランⅡ「南相馬の授業スタイル」を併せてご覧ください。

南相馬の「展開」スタイル①

9つの課題（3）活発な発言を促すため、発表する場の意図的な設定

「授業スタンダード」から

＜追究・解決～ペアやグループ・学級全体での話し合い～＞



思いや考えを広げ深めることができるようにするために

○友達との交流を通して、考えを共有・吟味させましょう。

- ・考えを共有したり比較・検討したりする場の設定
- ・目的に応じたグループ編成
- ・理由や根拠を基に判断する場の設定
- ・活動にふさわしい人数設定 等

こんな授業していませんか？



【A先生の悩み】
私のクラスは普段はにぎやかなのに、グループ活動になると、ちっとも話し合いが盛り上がりません。話し合いが苦手なのではないでしょうか？

何か、ある？

いや、別に…。



グループ活動になっても、「話したい気持ち」が高まっていないようです…。

こんな授業にしてみましょう！

1 話し合い・学び合いを工夫する！～子どもたちが主役の授業を作る～

話し合い・学び合いの基本は、
「対話」

学ぶ意欲が刺激されると、自然に人の意見を聞きたくなります。日頃から積極的にペアで照らし合わせ、互いに学び合う習慣を身につけさせましょう。

教師の工夫①課題設定

みんなで意見を出し合い、試行錯誤（協働）できる課題を与える。

教師の工夫②発問

複数の考え方ができる、いわゆる「開いた発問」を投げかける。

教師の工夫③子どもに預ける

丁寧すぎる説明を省き、児童生徒の考える余地を増やす。

【話し合いの前に】

導入や自力解決の場面を通して、本時の適度な見通しや自分なりの考えを持たせておくことが大切です。



【テンポよく進める】

自力解決・ペア・学び合い・全体発表とテンポよく進めて「まとめ・振り返り」につなげましょう。

児童・生徒の姿①

何を、どう話し合うか、みんながわかっている。

児童・生徒の姿②

比較・検討・選択・統合等、話し合いの仕方に慣れている。

児童・生徒の姿③

つぶやきや問いかけ（なんで？本当？）等がつながり、双方向のやりとりができる。

2 「考える力」「協働して解決する力」を育てる単元計画を！

子どもたちに「考える力」「協働して解決する力」を育てるためにも、単元計画の中に話し合い・学び合いの場を積極的に設定していきましょう。一方で、「しっかりと教える」「身につけさせる」場面も必要です。それぞれを単元の中に設定し、バランスのとれた単元計画を作りましょう。

南相馬の「展開」スタイル②

教師のコーディネート力を高めて、「暗記・再生型」から「思考・発信型」の授業へ
「授業スタンダード」から

○子どもたちの考えを基に話し合いをコーディネートし、ねらいに迫りましょう



- ・話し合いの論点、議論の明確化
- ・子どもの考えを引き出し、つなげる支援
- ・問い返しやゆさぶりなどはたらきかけ
- ・話し合いに全員を参加させる姿勢

こんな授業していませんか？

これは、こうで、ああで、
そうなって、わかった？



ハイ、わかりまし
た。(実はよくわか
っていない…)

先生、次は何す
るの？(完全に
先生まかせ)



先生がていねいに子どもたちに
説明し、一生懸命に教えているよ
うですが、子どもたちは完全に受
け身になっています…

こんな授業にしてみましょう！

1 発問を絞り、子どもたちの話し合い・学び合いに預ける！



なるほど、では○
○について、みん
なはどう考える？

**教師は、子どもの学び合いを
コーディネートする**

私は、このように考え
たの。理由は…

ぼくは賛成だ
な。

そうか、だから○
○なんだね！！

ぼくの考えは
ちょっとちが
って…

その考えに○
○を
付け加えると…



コーディネート3つのポイント

子どもの考えの見取り

コーチング（考えを引き出す問いかけ）

自信を持たせる言葉かけ

先生は、話し合い中
も忙しいのよ！



先生の話す言葉を精
選し、子どもたちが話す
割合を高めることが大
切です。

2 全体の前で発表させましょう！（全体発表も「学び合い」です）



見取りをもとに**意図的指名**し、
子どもの多様な考えを引き出します。

- 発表者に対して受容的な姿勢で聞かせる
- 価値ある発言や行動を賞賛し共有化する
- つまずきや誤答を活用する

教師の準備・機転でピンチをチャンスに！

⇒賞賛の積み重ねが自信につながります＝表現力の向上！

子どもの発表を活かして
本時のまとめにつなげま
しょう！



南相馬の「まとめ・振り返り」スタイル

9つの課題（7）適用とまとめの時間の確保

「授業スタンダード」から

＜終末「まとめ・振り返り→新たな学び」＞



- 「何を学習したか」をまとめましょう…自分のことばでまとめる時間の確保など
- 「どのように学習してきたか」を振り返りましょう…板書やノートを基にした確認など
- 新たな学びに目を向けさせましょう。…次時につながる気づきや疑問など

こんな授業していませんか？



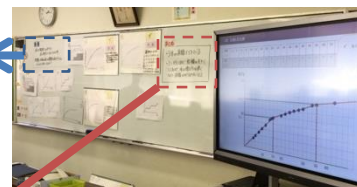
こんな授業にしてみましょう！

1 子どもたちと、本時の「めあて」に対する「まとめ」を作り上げる！

例 教育先進地（秋田県由利本荘市）との教員交流事業報告会・研究授業 鹿島中1年数学「比例と反比例」の授業より

めあて 底が階段状の水そうに一定の割合で水を入れたとき、
時間と水面の高さの関係のグラフはどのような形になるか？

まとめ ○3本の直線でできている。
○上に行くほど容積が大きくなるので、水の増え方は遅くなり、直線はゆるやかになる。



めあてと整合性のあるまとめ

子どもの声を生かしたまとめ

言語化したまとめ

理由・根拠のあるまとめ

2 まとめ（わかった！・できた！）を「振り返り」の活動につなぐ！

- ・本時の学習を通して感じたことや考えたことを、自分の言葉でまとめる「書く振り返り」
 - ・本時の学習を通して身に着けたスキルを活かして、適用問題に取り組む「解く振り返り」
- いずれかを教科の特性や単元構成上の本時の位置づけ等によって設定しましょう。

【書く振り返り】

感想…本時の学習を振り返り、考えたり感じたりしたことを自由に記述する。

作文…本時の学習を振り返り、考えたり感じたりしたことをテーマや条件に合わせて作文する。

本時の「振り返り」を家庭学習や次時の授業につなげることが、学習の定着につながります。

【解く振り返り】

適用…本時を振り返り、補充・発展的な練習問題に取り組む。

※必要に応じて【書く・解く振り返り】に自己評価（本時の学習を振り返り、評価表の質問に記号等を記入する等）を組み合わせましょう。

「まとめ」「振り返り」から逆算して授業づくりをしましょう

学習内容の精選、テンポのよい授業運びで時間を確保！

南相馬の「キー・ポイント」

全国学力・学習状況調査の分析から見えた学力向上3つの鍵

1 子どもたちの「自尊感情」を育てる！

子どもたちがお互いの考えの良さを認め合い、自信を持って自分の考えを話したり書いたりさせるといった「自尊感情」を高める指導は、学力向上の観点からも非常に大切です。次のページに示した**「学習過程における生徒指導の三機能」を意識した授業作り**を行うとともに、話し合い・学び合いを通して子どもたちの良さを引き出し、**褒める・認める・励ます指導を、もっと！もっと！！**行うことが大切です。

2 子どもたちの「書く力」を育てる！

話し合い・学び合いの授業も、「書く力」の向上なしには学力に結びつきません。授業を通して、書く意欲・書く力を子どもたちに身につけさせましょう。

【授業等で身につけさせたい書く力】

- 自分の考えや思いを素直に書く力（書き方でなく、内容を褒める指導）
- 具体的に書く力
 - ・抽象的なこと、概念的なことを自分の言葉にして書く（生活経験等と結び付ける指導）
 - ・自分の考えを、理由や根拠を明確にして書く（調べ学習、話し合い等で根拠を裏付ける指導）
- 条件に合わせて書く力
 - 「キーワードを使って文にまとめる」「文末等を指定して文にまとめる」
 - 「決められた字数で文章にまとめる」「テーマを決めて自分の考えを文章にまとめる」
 - 「箇条書きにして整理する」などの指導

3 小中連携して、「話し合い・学び合いを楽しむ子どもたち」を育てる！

先進地視察研修や教員交流研修を通じて見えた秋田県の指導の素晴らしさは、小中学校が連携して系統的に「話し合い・学び合いを楽しむ子どもたち」を育てていることです。

【授業中に楽しいと感じるとき】とは？ 秋田県由利本荘市の中学校「生徒アンケート」から抜粋

- ・友達と意見を交換し、互いの意見を認め合うとき。
- ・全員で何かを楽しく発表するとき。
- ・班ごとに意見を出し合うときや協力してやるとき。
- ・友だちに教えているとき。
- ・自分の考えを評価してくれるとき。
- ・先生や友達に教えてもらってわかったとき。
- ・話し合いをするときに、話合って考えがまとまるとき。

「中学生の話し合いこそ、面白い！」
秋田の先生談

「子どもたちのニーズに応じて、話し合いの授業をしています。」
秋田の先生談



南相馬の子どもたちにも、もっと学び合いの楽しさを！

- 小学校で培った話し合い・学び合いの楽しさを、中学校へと引き継ぎ伸ばしましょう。
- 小学校低学年・中学校1年生での学習ルールや関わり合いの指導を徹底しましょう。
- すべての教科等に話し合い・学び合いを広げ、子どもたちの考える力・協働して解決する力を育てましょう。
- 各中学校ブロックで、話し合い・学び合いの仕方について共通理解を図りましょう。

学習過程における生徒指導の三機能

授業の中で、子どもたちの自尊感情を育てる

南相馬市教育委員会

◆□・は教師の支援（◆は授業展開のポイントとなる支援）●は児童生徒の姿

	共感的人間関係	自己存在感	自己決定
導入	□はじめのあいさつ □表情・態度の観察 □学習用具の準備とその対応 □学習の約束事の徹底指導 ●教室の整理整頓 ●机には準備物 ●気持ちの切り替え ●落ち着いた態度 	□知的好奇心を高める提示 ・ズレや違和感を持たせる資料 ・日常性のある資料 ・直感的な資料提示  ●経験を振り返る ●気づきや発見 ●学ぶ意欲が高まる ●やってみよう！ 	◆学習意欲を高める学習課題（めあて）の設定 ・学ぶ必要感のある課題 ・本時の学びをふまえた課題 ・児童生徒の声を活かした課題 ・問いかけのある課題 ●自分なりの学習のめあてや学習の見通しを持つ
展開	◆話し合い・学び合い（ペア、班活動）の設定 ・試行錯誤のできる課題設定 □【学びの合い言葉】の定着 ①人まかせにしない ②自分の考えを持つ ③良さを認め合おう   ●話し合い・学び合い等、双方向の話し合いができる	□すべての児童生徒に対して活動・発表の場を保障 □活動中の机間指導 ・個々の考えの良さを見取る ・コーチング（問いかけ）により、子どもの考えを引き出す   □自信を持たせる言葉かけ ・ほめる ・認める ・励ます  ●自分の考えを言葉にして伝える	◆自力解決の時間の確保 ●自分なりの考えを持つ ●分からないことがわかる □習熟度別学習コース等の設定 □グループやペアでの役割分担 □調べ学習や話し合い等、自分の考えを深める場の設定    ●自分なりの考えを客観的に見直し、理由や根拠について考えを深める
まとめ・振り返り	□発表者に対して受容的な姿勢で聞かせる □価値ある発言や行動を賞賛し共有化する ●友だちの意見を受けて自分の考えを見直す。取り入れる	□つまずきや誤答の活用（教師の準備・機転 例「〇〇さんのおかげで、どこに注意すればいいかわかったよ。ありがとう！」） ◆本時の学習課題（めあて）に沿った、学習のまとめ ●「わかった・できた」を実感する ◆解く振り返り（適用問題等） ・補充、発展的な問題を与える ●学びの手応えを感じる □学習の満足感を高めさせ、家庭学習や次時の学習につなげる ●家庭学習や次時に向けての見通しを持つ	◆全体の前で説明・発表する場の設定 ・見取りによる意図的な指名    ●自分の考えを全体の前で話す ◆書く振り返り（本時の学習を振り返り、自分の言葉で書かせる） ・空欄や無解答にさせない工夫 ・書かれた内容を評価する ●本時の学習を振り返り、自分なりに考えたこと・学んだことを書く 